

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和5年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	5 地域資源の活用
施策関係課	(市長室)広報課／(経済部)産業労働政策課・SKIPシティ整備室・産業振興課・グリーンセンター／(教育総務部)文化財課

●施策の基本方針(目標)

本市が持つ多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信していくことで、多くの交流や活動を生み出し、まちを元気にしていきます。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅲ-5)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	35.0(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	32.200	35.300	31.900	0.000		
指標②	名称	記者会見・記者懇談会資料提供件数				単位	件
	目標値	40(令和7年度)		現状値	33(令和元年度)	指標の種別	活動
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	23.000	24.000	32.000	0.000		
指標③	名称	川口市公式Twitterフォロワー数				単位	人
	目標値	10,000(令和7年度)		現状値	2,365(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	5,635.000	6,876.000	7,622.000	0.000		
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和7年度計画額
事業額	事業費	1,508,848	1,437,772	855,561	536,820	480,495
	概算人件費	169,151	161,392	164,952	141,588	141,588
	総事業費	1,677,999	1,599,164	1,020,513	678,408	622,083

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 56	単位施策② 52	単位施策③ 56	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.7	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
観光事業	経済部	21,392	12,880	17,194	19,044	19,044	56	現状維持で実施
	産業振興課	13,904	13,552	13,904	14,256	14,256		
地域物産館施設管理費	経済部	4,193	5,871	4,610	5,155	5,155	54	現状維持で実施
	産業振興課	2,686	2,618	2,686	2,754	2,754		
グリーンセンター再整備事業	経済部	1,246,922	1,063,345	495,944	232,580	232,580	58	現状維持で実施
	グリーンセンター	39,500	38,500	39,500	40,500	40,500		
シティプロモーション事業	市長室	35,406	34,444	72,975	37,633	37,633	56	拡充して実施
	広報課	11,455	11,165	11,455	11,745	11,745		
その他広報事業	市長室	10,901	11,006	13,907	13,554	13,554	56	現状維持で実施
	広報課	5,135	5,005	5,135	5,265	5,265		

単位施策名 ② 歴史的資源の保護と活用								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
歴史自然資料館施設運営費	教育総務部	18,429	17,745	17,728	17,878	17,878	54	現状維持で実施
	文化財課	1,738	1,463	1,343	1,377	1,377		
赤山城跡保存整備事業	教育総務部	20,807	42,432	14,343	61,636	61,636	54	現状維持で実施
	文化財課	3,950	3,850	3,950	4,050	4,050		
史跡等管理事業	教育総務部	77,122	26,687	22,070	—	—	48	他事業に統合されて実施
	文化財課	3,950	3,850	3,950	—	—		
遺跡発掘調査事業	教育総務部	7,876	8,367	8,361	10,894	10,894	56	現状維持で実施
	文化財課	26,860	23,100	21,330	27,216	27,216		
民俗文化財等調査事業	教育総務部	6,869	6,123	6,248	—	—	42	他事業に統合されて実施
	文化財課	13,430	13,090	13,430	—	—		
文化財センター施設運営費	教育総務部	1,718	1,619	1,832	—	—	48	廃止
	文化財課	4,266	2,926	2,054	—	—		
旧田中家住宅指定管理者管理運営費	教育総務部	0	0	18,538	13,904	13,904	54	現状維持で実施
	文化財課	0	0	948	972	972		
郷土資料館施設運営費	教育総務部	6,296	6,238	5,664	4,518	4,518	56	現状維持で実施
	文化財課	8,927	11,011	10,902	11,178	11,178		
その他文化財保護費	教育総務部	3,322	975	736	1,083	1,083	56	現状維持で実施
	文化財課	3,160	3,080	3,160	3,240	3,240		
古文書資料収集保管事業	教育総務部	277	281	1,491	—	—	50	他事業に統合されて実施
	文化財課	6,590	1,848	1,106	—	—		
古文書解説事業	教育総務部	2,154	2,973	2,922	—	—	54	他事業に統合されて実施
	文化財課	1,954	924	3,634	—	—		

単位施策名		③ SKIPシティを活用した地域の活性化						
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
NHK跡地整備事業	経済部	27,814	157,055	121,268	89,210	32,885	56	効率化して実施
	SKIPシティ整備室	17,775	17,325	18,960	10,935	10,935		
映像関連普及事業	経済部	0	4,731	4,730	4,731	4,731	56	現状維持で実施
	産業労働政策課	0	2,310	2,370	2,430	2,430		
映画祭関連事業	経済部	17,350	35,000	25,000	25,000	25,000	56	現状維持で実施
	産業労働政策課	3,871	5,775	5,135	5,670	5,670		

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	観光事業			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施		
根拠法令等	地域資源活用事業補助金交付要綱、川口まちかど観光案内所事業実施要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市外からの観光客及び市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市に特徴のある様々な地域資源(観光資源)を活用した観光振興に取り組むことで、魅力ある訪れたいまち、選ばれるまちの実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 観光PR促進事業 地域資源を活用した事業への団体補助金 歴史的財産である日光御成道のPR まちかど観光案内所事業 	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した事業に対し、助成を行った。 市内桜名所の紹介動画を制作した。 観光PRポスターを作成した。 市外のイベントに出店し、観光情報のPRを行った。 埼玉県公式観光サイト「ちょこたび埼玉」に観光スポットやイベント情報を掲載した。 	市内の観光地点をウォーキングルートとして結ぶ11種のマップを各所へ配架し、市内外のイベントへ出店し観光グッズなどを配布、地域資源の広報活動などで市内外へ本市の魅力をPRできた。結果として市内施設への観光入込客数(1～12月計測)がおおよそ67万人増加した。(前年比142%)	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域資源活用事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	地域資源を活用した事業を行う地域団体への助成。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	6.00 未達成		6.00 未達成		4.00 未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	4 細目	1 細々目	観光事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	24,511	18,943		19,033		19,044		19,044		
決算額(B)=(C)+(D)	21,392	12,880		17,194						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	21,392		12,880		17,194		19,044		
概算人件費(E)	13,904		13,552		13,904		14,256		14,256	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.76	0.00	1.76	0.00	1.76	0.00	1.76	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	35,296		26,432		31,098		33,300		33,300	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	観光物産協会、商工団体、緑化団体、商店街等と協力・連携し、地域資源を活用する事業を展開する必要がある。発展した事業を展開するため、情報共有・収集に努め、連携した事業展開を目指す。更には新たな生活様式に沿ったイベント等の企画を策定していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	地域物産館施設管理費			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	29	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施					
根拠法令等	赤山歴史自然公園内地域物産館貸出要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等			市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	イイナパーク川口の賑わいの拠点として、地場産農産物の販売などを行い、地域の振興を図る。			地域物産館を集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸し出すことにより、市内外から訪れる利用者の憩いの場所となることで、地域コミュニケーションの活性化に繋げる。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	地域物産館のPRに繋がるため、集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸出した。			地域コミュニケーションの活性化に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域物産館貸出日数			指標・目標値の説明(算定式)	地域物産館(こもれびラウンジ・こもれびホール・グリーンマーケット)における貸出日数				
	単位	日	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	85.00		107.00		89.00				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		7 款	1 項	2 目	6 細目	1 細々目	地域物産館施設管理費			
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	4,665		6,247		5,171		5,155		5,155		
決算額(B)=(C)+(D)	4,193		5,871		4,610						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	4,193		5,871		4,610		5,155			
概算人件費(E)	2,686		2,618		2,686		2,754		2,754		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,879		8,489		7,296		7,909		7,909		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 /60	令和6年度から地域物産館を除く赤山歴史自然公園の指定管理が開始されたことから、地域物産館が賑わうための運用等について関係各課と調整を図る。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	グリーンセンター再整備事業			担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	施設の老朽化や市民の利用ニーズ、社会状況の変化等に対応した施設の再編を図る。	活性化基本計画に基づく園内の施設再編やインフラの再整備 防災拠点の機能強化となるオープンスペースの拡充や防災関連施設の導入等 収益や集客の向上を目的とした管理運営形態の構築	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	第2期及び第3期整備事業に係る基本・実施設計や用地測量等の委託業務 第2期整備事業に係る整備工事、撤去工事等	主に第2期整備事業について、効率的かつ合理的な施工の実施を行った。 工事の施工にあたっては、入園者の安全性の確保、サービス性の低下の防止に努めた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6 款	1 項	5 目	2 細目	3 細々目	グリーンセンター再整備事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	1,947,753	1,126,585		628,889		232,580		232,580		
決算額(B)=(C)+(D)	1,246,922	1,063,345		495,944						
財源※	特定財源(C)	778,986	487,320		91,272		41,400			
	一般財源(D)	467,936	576,025		404,672		191,180			
概算人件費(E)	39,500	38,500		39,500		40,500		40,500		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,286,422		1,101,845		535,444		273,080		273,080	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	グリーンセンターの再整備事業については、計画上の概算事業費として100～150億円規模の予算が必要となるため、国土交通省以外の補助金メニューの活用や財政状況による事業工程の見直し及び事業費の平準化等が必要となる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	シティプロモーション事業			担当	市長室 広報課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	28	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び市外在住者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	本市の魅力を生かすことにより、市民の地域愛の醸成や定住促進を図る他、一人でも多くの若者世代や子育て世代、そして本市の伝統であるものづくり産業の担い手、起業家等を市外から本市により多く呼び込むこと。	・官民連携地域情報ウェブサイト「トリコカワグチ」で地域と行政の情報発信・川口市マスコット「きゅぼらん」を活用したPR活動・川口市公式X(旧Twitter)・定住促進冊子を活用した本市知名度の向上・市内外の広告ビジョン、鉄道車両内のモニターでの本市PR動画の放映・イルミネーション「かわぐち光のファンタジー」の実施	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・官民連携地域情報ウェブサイト「トリコカワグチ」を基盤とした魅力的な地域情報と行政情報を発信、PRイベントを実施 ・交通広告(埼玉高速鉄道4/1～)で本市PR動画を放映 ・川口駅周辺などにイルミネーションを設置(12/1～2/14)	広告などのメディア露出や、SNSの更新頻度を増やすことにより、本市の知名度向上が図られ、川口市公式X(旧Twitter)フォロワー数の目標数値を達成することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市公式X(旧Twitter)フォロワー数			指標・目標値の説明(算定式)	川口市公式X(旧Twitter)フォロワー数(令和7年度末目標値…10,000人 年間増加目標値…1,240人)				
	単位	人	指標の種別	成果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		5,040.00		6,280.00		7,520.00		8,760.00		0.00
	実績値・達成状況	5,774.00	達成	6,679.00	達成	7,622.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		2款	1項	10目	2細目	4細々目	シティプロモーション事業			
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	36,131		34,675		74,130		37,633		37,633		
決算額(B)=(C)+(D)	35,406		34,444		72,975						
財源※	特定財源(C)	2,829		0		0		2,614			
	一般財源(D)	32,577		34,444		72,975		35,019			
概算人件費(E)	11,455		11,165		11,455		11,745		11,745		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	46,861		45,609		84,430		49,378		49,378		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	日本全体の人口減少をみても、本市の人口も早晩ピークアウトを迎えるという危機感を持ち、数多いプロモーションの中で埋もれないようなPR方法を模索する必要がある。川口市が持っている多くの魅力を継続して発信するよう、従来の事業内容に加え、新たな魅力発信のための手段を模索していく。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	その他広報事業			担当	市長室 広報課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市掲示板等を利用し、行政情報を提供するもの。	市内に約1,000基ある掲示板の維持管理及び市発行ポスターの貼付	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	毎月1～15日、16日～月末の2回を期間に市発行ポスター等を貼付した。また、町会からの要望で随時、掲示板の新設・移設・修繕等を行った。	掲示板は市内の人目に付きやすい場所に設置しており、広報効果は極めて高い。市内外に各種市政情報を提供することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		2 款		1 項		10 目		2 細目		5 細々目		その他広報事業	
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度					
予算額(A)	11,082		11,128		14,066		13,554		13,554					
決算額(B)=(C)+(D)	10,901		11,006		13,907									
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0						
	一般財源(D)	10,901		11,006		13,907		13,554						
概算人件費(E)	5,135		5,005		5,135		5,265		5,265					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00				
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,036		16,011		19,042		18,819		18,819					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	野外に設置しているため、風雨による破損やいたずら等のリスクを内包している。しかしながら、市内各所での情報提供ツールとして不可欠なことから、引き続き事業を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	歴史自然資料館施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用		
根拠法令等	川口市立文化財センター設置及び管理条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	歴史自然資料館	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	歴史自然資料館の運営を通じて、市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうとともに、郷土愛の醸成の一助とする。	歴史自然資料館を運営(映像ギャラリー・展示室の一般公開、文化団体への貸出し、企画展やワークショップを開催する)。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・映像ギャラリーと展示室等における常設展示を公開した。 ・企画展1回、ワークショップ12回、イベント1回を実施した。	市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうとともに、郷土愛の醸成に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	歴史自然資料館の来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
	実績値・達成状況	34,347.00	未達成	65,369.00	達成	40,239.00	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	9 細目	1 細々目	歴史自然資料館施設運営費			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度			
予算額(A)	18,561	17,908		17,785		17,878	17,878			
決算額(B)=(C)+(D)	18,429	17,745		17,728						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	18,429	17,745		17,728		17,878	17,878		
概算人件費(E)	1,738	1,463		1,343		1,377	1,377			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.22	0.00	0.19	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,167	19,208		19,071		19,255	19,255			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	展示やイベント等の充実を図るとともに、旧跡赤山城跡への見学にもつながる魅力ある運営を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	赤山城跡保存整備事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	赤山城跡	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	県の旧跡で本市の重要な歴史遺産である「赤山城跡」の公有地化整備を行うもの。	「赤山城跡」の保存整備をはかるため、売却要望のある土地の購入を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	県指定旧跡赤山城跡の保存整備用地の購入を行った。	堀や遊歩道に面する用地の一部を購入し、史跡の保存を図るとともに、その活用供することができることから、赤山城跡に対する市民意識の向上につながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公有地化			指標・目標値の説明(算定式)	旧跡の公有地化				
	単位	m ²	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	760.89		未達成		1,567.94		達成		487.82
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	2 細目	2 細々目	赤山城跡保存整備事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	21,008	48,178		17,636		61,636		61,636		
決算額(B)=(C)+(D)	20,807	42,432		14,343						
財源※	特定財源(C)	0		38,100		12,900		55,400		
	一般財源(D)	20,807		4,332		1,443		6,236		
概算人件費(E)	3,950		3,850		3,950		4,050		4,050	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	24,757		46,282		18,293		65,686		65,686	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	保存整備対象地が広大で、買収及び整備に長い年月を要するため、史跡の有効的な活用を検討した購入を行っている。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	史跡等管理事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	令和	5	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・木曾呂の富士塚 ・赤山城跡	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	国指定重要有形民俗文化財である「木曾呂の富士塚」及び県の旧跡である「赤山城跡」の保存管理等を行うもの。	「木曾呂の富士塚」と「赤山城跡」保存整備事業区域内における樹木管理、用地施設の修理、土地の借上げ等を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・木曾呂の富士塚・赤山城跡の樹木等の管理を行った。 ・赤山城跡の修繕を行った。	用地の借り上げ、樹木管理、修繕を行うことにより、本市の貴重な文化財である木曾呂の富士塚と赤山城跡の保護を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	樹木管理面積			指標・目標値の説明(算定式)	国指定重要有形民俗文化財と県指定旧跡の保存管理面積				
	単位	m ²	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	35,581.44	達成	36,342.33	達成	37,910.27	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	2 細目	1 細々目	史跡等管理事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	83,830	27,301		22,591		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)	77,122	26,687		22,070						
財源※	特定財源(C)	37,600		0		0		0		
	一般財源(D)	39,522		26,687		22,070		0		
概算人件費(E)	3,950		3,850		3,950		0		0	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	81,072		30,537		26,020		0		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	史跡等の管理面積が広大で、年々市有地が増加傾向にあり、箇所に応じた樹木等の適切な管理が必要である。民間活用による工夫した管理を検討していく必要がある。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	遺跡発掘調査事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用		
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助要項、文化財保存事業費関係補助金交付要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	埋蔵文化財	発掘調査を伴う個人住宅を建設する市民、及び各種開発に伴い埋蔵文化財範囲確認調査を必要とする市民・事業者等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	各種開発事業に伴う、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や埋蔵文化財の記録保存を図るもの。	各種開発事業に伴い、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や記録保存のための遺跡の発掘調査を実施する。また、発掘調査により出土した遺物等の整理作業を行うとともに記録にまとめ、報告書を刊行する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	個人住宅建設等に伴う発掘調査2件、範囲確認調査21件、及び令和4年度に実施した発掘調査の報告書を1件刊行した。なお、上記の件数は文化財課予算で実施した調査件数であり、他にも開発原因者負担による調査(発掘2件、報告書刊行1件)を実施している。	埋蔵文化財の記録保存が図れた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	範囲確認調査の件数			指標・目標値の説明(算定式)	開発行為に伴い実施するものであり、目標値を事前に設定できない。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況	22.00	-	22.00	-	22.00	-			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	3 細目	1 細々目	遺跡発掘調査事業					
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度					
予算額(A)	10,683	9,490		11,170		10,894	10,894					
決算額(B)=(C)+(D)	7,876	8,367		8,361								
財源※	特定財源(C)	3,150	3,150		3,150		3,150					
	一般財源(D)	4,726	5,217		5,211		7,744					
概算人件費(E)	26,860	23,100		21,330		27,216	27,216					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.40	0.00	3.00	0.00	2.70	0.00	3.36	0.00	3.36	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	34,736	31,467		29,691		38,110	38,110					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	今後も、必要に応じて効果的な発掘調査を実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	民俗文化財等調査事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	3	年度	～	令和	5	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用						
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	文化財資料			市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市内に所在する民俗文化財や铸件関係資料等の文化財資料を調査し保護することを目的としている。			民俗文化財資料等について現地調査・記録を行い、収集した資料については、洗浄・メンテナンス、調査を行い、台帳に整理し、収蔵・保管する。また、文化財の現況や指定候補文化財の調査を実施する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	<ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財の調査・収集・整理を行った。 資料の洗浄・補修・計測・写真記録・リストの作成を行った。 資料図面の作成を行った。 所蔵資料の管理を行った。 指定文化財及び指定候補文化財の調査を行った。 			市内に所在する文化財を調査・記録し、また収集した民俗資料を調査・整理・記録・保管し、報告・活用することにより、市民の文化財愛護精神と郷土愛の醸成につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	民俗資料整理点数			指標・目標値の説明(算定式)	民俗資料整理点数				
	単位	点	指標の種別	活動						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	3,357.00		達成		963.00		未達成		2,952.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10	款	6	項	8	目	3	細目	2	細々目	民俗文化財等調査事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度							
予算額(A)	7,746	6,991		7,058		0		0							
決算額(B)=(C)+(D)	6,869	6,123		6,248											
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0							
	一般財源(D)	6,869		6,123		6,248		0							
概算人件費(E)	13,430		13,090		13,430		0								
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.70	0.00	1.70	0.00	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,299		19,213		19,678		0								

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	7 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
42 /60	調査員・調査補助員と連携した文化財調査及び民俗文化財資料の寄贈・収集に伴う調査・記録事業である。これらの文化財や資料は、本市の歴史や地域的特色を示すものであり、このうち重要なものについては、指定候補文化財として専門的な調査を実施したり、展示資料として活用していく。		翌年度	他事業に統合されて実施
			翌々年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	文化財センター施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 5 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化財センター	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市内に所蔵する資料を文化財センターに収集・保管し、展示・活用する施設として運営するもの。	文化財資料の整理作業を実施し、活用・収蔵を行う。また市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する常設展示のほか、企画展を開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	文化財資料の展示・収蔵を行った。	文化財資料の整理・保管・常設展示を行い、市民の文化財愛護精神を養う一助とした。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化財センター来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	4,000.00		4,000.00		4,000.00		-		-
	実績値・達成状況	1,493.00	未達成	1,200.00	未達成	1,254.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	4 細目	1 細々目	文化財センター施設運営費			
年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)	1,929	1,812			1,953		0		0	
決算額(B)=(C)+(D)	1,718	1,619			1,832					
財源※	特定財源(C)	186			169		204		0	
	一般財源(D)	1,532			1,450		1,628		0	
概算人件費(E)	4,266			2,926		2,054		0		0
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.54	0.00	0.38	0.00	0.26	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,984			4,545		3,886		0		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	文化財センターは、令和6年3月31日で閉館となったため、本事業は令和5年度で完了とする。	翌年度	廃止
		翌々年度	廃止

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	旧田中家住宅指定管理者管理運営費			担当	教育総務部 文化財課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用		
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	国指定重要文化財「旧田中家住宅」を管理運営する指定管理者	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	国指定重要文化財「旧田中家住宅」の保存・活用・管理を指定管理により行うもの。	国指定文化財「旧田中家住宅」の保存、活用事業及び施設の維持管理を指定管理により行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・施設の保存・管理等のほか、アトリアとの共同による企画展「BONSAI-宇宙を画く-」を実施したほか、端午の節供・端午の茶会等のイベントを7回開催した。また、貸館を行うことにより、国指定重要文化財の活用にも努めた。	・施設の保存・管理等のほか、企画展に1,156人、イベントに1,514人の参加があり、国指定重要文化財の活用にも努めた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧田中家住宅来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	g/人・日	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況	0.00	0.00	5,904.00	—					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	5 細目	5 細々目	旧田中家住宅指定管理者管理運営費			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度			
予算額(A)	0	0		18,538		13,904	13,904			
決算額(B)=(C)+(D)	0	0		18,538						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	0		18,538		13,904	13,904			
概算人件費(E)	0		0		948	972	972			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		0		19,486	14,876	14,876			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	民間事業者の能力を活かし、国指定重要文化財としての魅力ある活用を図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	郷土資料館施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 23 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	郷土資料館	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝えるもの。	文化財資料の展示・学習会・収蔵を行う施設として郷土資料館を運営する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・企画展「縄文のナニコレ／コレミテ」を実施した。 ・小・中学校を対象に、収蔵資料等を活用した歴史教室・社会科見学を延べ244校で実施した。	市民に郷土川口の歴史・民俗・文化について理解を深めてもらうとともに、文化財愛護精神の高揚に寄与できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	郷土資料館来館者数			指標・目標値の 説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	4,627.00	達成	3,467.00	未達成	5,874.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	7 細目	1 細々目	郷土資料館施設運営費			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	6,875	6,785		6,612		4,518		4,518		
決算額(B)=(C)+(D)	6,296	6,238		5,664						
財源※	特定財源(C)	1,278		1,437		1,294		1,329		
	一般財源(D)	5,018		4,801		4,370		3,189		
概算人件費(E)	8,927		11,011		10,902		11,178		11,178	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.13	0.00	1.43	0.00	1.38	0.00	1.38	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,223		17,249		16,566		15,696		15,696	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	需要の高いオンライン事業を積極的に実施するとともに、常設展示や企画展等の充実を図ることにより来館者の増加に努める。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	その他文化財保護費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	川口市文化財保護条例、川口市管理維持費交付要綱、川口市文化財保存事業費交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)	
	指定文化財所有者、保持団体			市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	指定文化財を維持管理・修理・活用するための費用の補助金の交付を行うもの。			指定文化財管理維持費、無形民俗文化財保存継承費、文化財保存事業費補助金の交付を行う。また、各協議会負担金の交付を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財補助金(指定文化財管理維持費補助金、無形民俗文化財保存継承費補助金、文化財保存事業費補助金)の交付事業を行った。 川口市郷土史会への交付金、県文化財保護協会・県博物館連絡協議会への負担金を交付した。 			指定文化財所有者・保持団体に補助金を交付したことにより、指定文化財課保護された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指定文化財補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	文化財所有者の申請に応じて実施するものであり、目標値を事前に設定出来ない。				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	31.00		29.00		30.00				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	8 細目	1 細々目	その他文化財保護費			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	3,715	1,050		1,050		1,083		1,083		
決算額(B)=(C)+(D)	3,322	975		736						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	3,322		975		736		1,083		
概算人件費(E)	3,160		3,080		3,160		3,240		3,240	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,482		4,055		3,896		4,323		4,323	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	指定文化財を次世代へ継承していくうえでの課題を把握し、適切な補助金の交付と文化財保護支援を検討していきたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	古文書資料収集保管事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-283-3552	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	令和	5	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	本市に残された古文書等の文献資料		市民及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	本市の歴史を解明する上で不可欠な古文書等文献資料を調査・収集し、収集した資料を最適な形で後世に伝えと共に、資料の活用を図る。		本市に残された古文書の調査・収集・整理・保存。		
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	<ul style="list-style-type: none"> 本市に残された古文書等文献資料を調査・収集し、保存処理・分類・整理・保管した。 県地域資料保存活用連絡協議会に参加した。 		本市に残された古文書等文献資料を、新たに1件、2点調査・収集し、データ処理を行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書等文献資料の収集件数			指標・目標値の説明(算定式)	所有者からの調査依頼等によって適宜行われるものであり、目標値を事前に設定できない				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	2.00		2.00		1.00		-		-
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	10 細目	1 細々目	古文書資料収集保管事業				
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)	278	282		1,734		0		0			
決算額(B)=(C)+(D)	277	281		1,491		-		-			
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	277		281		1,491		0			
概算人件費(E)	6,590		1,848		1,106		0		0		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.50	0.24	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,867		2,129		2,597		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	古文書等の文献資料を調査・収集し、本市の歴史を明らかにする貴重な歴史資料をより良い形で後世に伝えるための事業である。保管した古文書等は整理を継続的に実施し、展示活用等による公開を図ることで、本市の歴史的事象・人物の顕彰に役立ての市民の郷土愛育成に寄与する。		翌年度	他事業に統合されて実施
			翌々年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	古文書解読事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	令和	5	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	川口市文化財保護条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	本市に残された古文書等の資料	市民及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	本市に残された古文書資料を解読し、後世に記録として残すほか、それを活用した事業を実施し、市民及び本市の歴史に関心をもつ人に広く公開するため。	専門家に依頼しての古文書解読・古文書講座の実施。解読した古文書を史料叢書として図書刊行を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・古文書資料の既読を推進した。 ・古文書講座を2回(初級講座、中級講座)実施した。	古文書講座参加者に、本市に残された古文書資料の重要性について広く周知することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書講座の参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	開催要項において設定した募集人数				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	74.00	74.00	80.00	-	-				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	10 細目	2 細々目	古文書解読事業				
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)	2,186	3,029		3,062		0		0			
決算額(B)=(C)+(D)	2,154	2,973		2,922							
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	2,154		2,973		2,922		0			
概算人件費(E)	1,954		924		3,634		0		0		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.06	0.40	0.12	0.00	0.46	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,108		3,897		6,556		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	世代交代により、古文書資料解読の技能を有する人が減少しており、人材の確保と育成が課題である。古文書資料から解読できる歴史を後世に残すためにも、本事業の必要性和有効性は高いことから、事業内容を検討していく。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	NHK跡地整備事業				担当	経済部 SKIPシティ整備室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-258-1152	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	11	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化					
根拠法令等	さいたま新産業拠点整備計画、さいたま新産業拠点(SKIPシティ)B街区利用計画、SKIPシティ利活用基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・SKIPシティB・C街区 ・旧早稲田大学川口芸術学校校舎(SKIPシティA2街区6階)	・市民 ・市内事業者、中小企業 ・SKIPシティワーカー	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	映像関連産業と事業者支援機能が集まる賑わいのあるまちの形成	・市が所有するB街区とNHKが所有するC街区及びB街区西側隣地の一部を交換すること。 ・C1街区(西側)に産業支援施設を整備すること。 ・C2街区(東側)に商業施設(物販・飲食)を整備すること。 ・A2街区の旧早稲田大学川口芸術学校の活用を図ること。 ・SKIPシティと各駅を結ぶ交通ネットワークを見直し整備する	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・C街区内の鉄塔基礎撤去工事。 ・C1街区施設の実施設計。 ・C1街区内産業資料館の展示基本設計。 ・C2街区の事業用定期借地権設定契約の締結。 ・C2街区商業施設(物販・飲食)の着工。	NHK跡地整備事業の完成に向け、事業が進捗した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティC街区における施設整備進捗状況			指標・目標値の説明(算定式)	SKIPシティC街区における施設整備完了までの割合					
	単位	%	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
	実績値・達成状況	0.00	—	20.00	達成	40.00	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	7 細目	2 細々目	NHK跡地整備事業					
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度					
予算額(A)	34,806	167,136		124,328		89,210	32,885					
決算額(B)=(C)+(D)	27,814	157,055		121,268								
財源※	特定財源(C)	0	5,100		24,000		0					
	一般財源(D)	27,814	151,955		97,268		89,210					
概算人件費(E)	17,775	17,325		18,960		10,935	10,935					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.25	0.00	2.25	0.00	2.02	0.00	1.35	0.00	1.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	45,589	174,380		140,228		100,145	43,820					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	・C1街区施設整備に向けて検討を進める。 ・C2街区商業施設オープンに向けてプロムナード敷設工事等を行う。 ・A2街区の旧早稲田大学川口芸術学校校舎の活用を図る。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	映像関連普及事業			担当	経済部 産業労働政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1619	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・川口市内の小学生(CG制作) ・川口市内小学4・5・6年生(映画制作)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・映像産業を核とした次世代産業導入・集積のための人材育成に寄与する ・制作作品を市民に紹介し、映像関連事業の普及・啓発	・小学生がCG制作を体験 ・小学4・5・6年生による短編映画制作	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・市内小学生がCGアニメーションを制作 ・市内小学4・5・6年生が、演出、主演、撮影、編集等全てを担当し、映画を制作	川口市内の小学生がCG教室や短編映画制作を通して、次世代産業への理解・興味・関心が向上した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	CG教室参加希望者			指標・目標値の説明(算定式)	定員に対して、参加希望者が上回る人数				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況	0.00	854.00	達成	756.00	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7款	1項	2目	2細目	4細々目	映像関連普及事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	0	4,731		4,731		4,731		4,731		
決算額(B)=(C)+(D)	0	4,731		4,730						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	0		4,731		4,730		4,731		
概算人件費(E)	0		2,310		2,370		2,430		2,430	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		7,041		7,100		7,161		7,161	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2・3年度は事業を中止していたが、令和4年度より再開し、CG制作・映画制作ともに定員を上回る応募があった。引き続き映像制作を通して、次世代産業への興味関心の向上を図るとともに、制作した映像を上映・配信することで事業のさらなる周知に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	映画祭関連事業			担当	経済部 産業労働政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1619	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化				
根拠法令等	SKIPシティ国際映画祭開催基本方針				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・映像クリエイター ・映像関連産業関係者 ・映画祭視聴者	・映像クリエイター ・映像関連産業関係者 ・映画祭視聴者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・「デジタルシネマ」の裾野を広げ、新しいクリエイターを発掘する ・将来本市の産業の核となる映像関連産業の育成に役立てていく	・世界中から募集したデジタルシネマの中から、優秀作品を顕彰する	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・映画祭実行委員会定例会の開催(月1回) ・スクリーン上映とオンライン配信の2つの方式で開催 ・7月15日(土)～7月23日(日)スクリーン上映 ・7月22日(土)～7月26日(水)オンライン配信 ・映画祭20周年、川口市制施行90周年を記念して製作した映画を、オープニング上映及び全国公開	前年度に引き続き、スクリーン上映に加えてオンライン配信も併せて行うハイブリッド開催を実施した。スクリーン上映の入場者数7,736人、オンライン配信の視聴者数3,657回、合計11,393件の視聴実績となり、合計視聴実績は前年度を上回った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭視聴者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の視聴者数(視聴回数)を上回る数				
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	8,142.00		8,465.00		8,541.00		11,393.00		0.00
	実績値・達成状況	8,465.00	達成	8,541.00	達成	11,393.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7款	1項	2目	2細目	5細々目	映画祭関連事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	25,000	35,000		25,000		25,000		25,000		
決算額(B)=(C)+(D)	17,350	35,000		25,000						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	17,350		35,000		25,000		25,000		
概算人件費(E)	3,871		5,775		5,135		5,670		5,670	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.49	0.00	0.75	0.00	0.65	0.00	0.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,221		40,775		30,135		30,670		30,670	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	昨年度に引き続き、スクリーン上映とオンライン配信を併せて行い、昨年度の視聴者数を上回ることができた。視聴結果からオンライン配信については一定のニーズがあることがわかる。今後は若年層の来場を促し、参加や体験、交流を通じて映像産業に興味を持ってもらえるような取組を実施していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施